

平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

1 はじめに

当協会は、平成元年 4 月に社団法人として発足し、平成 23 年 6 月からは公益法人制度改革により公益社団法人として、産業廃棄物の適正処理及び資源化の推進を柱とする諸事業を通し、県民福祉の向上及び循環型社会づくりの促進に寄与している。

2 社会経済状況

平成 29 年度の我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いた。

神奈川県内の経済も、平成 29 年度は回復傾向をたどった。海外経済の回復により輸出が増加し、企業業績が改善する中で、設備投資は高水準で推移した。

産業廃棄物処理業においては、平成 27 年度の産業廃棄物総排出量は約 3 億 9,119 万トンで、前年度に比べ約 2 百万トン減少と漸減傾向が続く中、全国的に需要の停滞、価格競争の激化や人手不足などが続いた。

3 行政の取組み

国においては、法施行状況の検討を踏まえた 5 年ごとの廃棄物処理法の改正が行われたことを受け、政省令の改正が進められ、適正処理及び資源循環の推進に向けた更なる取組みが実施された。

また、神奈川県では、廃棄物処理法や政省令の改正に伴う取扱いの徹底を図るほか、平成 28 年度末に新たな災害廃棄物等処理計画が策定されたことを受け、市町村との支援協定に係る机上訓練等を協会も参加して行うなどの対策が進められた。

4 協会の取組み

こうした中、当協会は、平成 29 年 4 月から名称を「公益社団法人神奈川県産業資源循環協会」に変更し、適正処理と資源循環の更なる推進に向け、コンプライアンスの徹底、人材育成の推進、労働災害の防止、災害廃棄物処理の対応、地球温暖化対策などに関する事業を行政や関係団体と連携し、次のとおり実施した。

公益目的事業

1 産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発

(1) 法定事項の遵守、コンプライアンス等の向上及び不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発並びに調査研究に基づく普及啓発

ア 法定事項の遵守、コンプライアンスの向上の普及啓発

(ア) マニフェスト等普及啓発事業

産業廃棄物の処理に係る法定事項である委託契約書、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿を遵守・徹底し、適正処理のコンプライアンスを向上・徹底するため、委託契約書、マニフェスト等を頒布し(702,500セット)、排出事業者等に対してはセミナー等にて電子マニフェストへの加入を促進しました。

(イ) 産業廃棄物処理業者基本台帳整備・許可期限通知事業

産業廃棄物処理業の更新時の混乱による無許可営業を防止するため、更新期限の通知を行っています。(年2回実施予定)

通知文発送日	許可期限日範囲	発送件数
29.8.23	29.10.1～30.5.31	50 社
30.3.26	30.6.1～31.1.31	114 社

(ウ) 許可講習会等実施協力事業

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請者、処理業務への従事者、実務者に対する講習会等の実施に協力し、法定の資格遵守を普及啓発しました。

講習会名・講習内容	開催日	受講者	会場	
新規 許可講習会	収集・運搬課程	29.7.19～20 29.9.28～29 30. 2.28～3.1	161 名 161 名 136 名	かながわ労働 プラザ(横浜市)
	処分課程(収集・運搬課程と合同)	29.5.16～19	処分課程 142 名 収集運搬 105 名	
	特別管理産業廃棄物収集運搬課程	30.1.31～2.2	103 名	
更新 許可講習会	収集・運搬課程 (特別管理産業廃棄物収集運搬課程)	29. 4.27 29 .6.23 29.8.31 29.10.26 30. 3. 2	179 名 172 名 163 名 170 名 168 名	
	処分課程(収集・運搬課程と合同)	29.11.9～10	処分課程 130 名 収集運搬 81 名	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会		29. 4.26 29. 6.22 29 .7.21 29.8.30 29.9.27 29.10.25 29.11.8	134 名 140 名 144 名 149 名 153 名 139 名 159 名	
	全産連 実務者研修	29.7.19	98	ワークピア横浜

(エ) 排出事業者・行政との懇談会事業

事業者と行政及び処理業界との懇談会・懇話会の開催

会議名	開催日	場所	出席者数
神奈川労働局との情報交換会 産業廃棄物業界の労働災害防止について	29.4.27 29.11.29	協会会議室	6名 5名
湘南・県西地区委員会と行政との勉強会	29.11.10	小田原箱根商工会議所	30名
廃棄物対策協議会との懇話会 (湘南・県西地区委員会)	30.2.16	平塚商工会議所	43名

イ 不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発

産業廃棄物の不法投棄・不適正処理の発生を未然に防ぐため、神奈川県、市町村等が行う産業廃棄物不法投棄防止・撲滅キャンペーン事業に参加・協賛等して、不法投棄・不適正処理の防止を普及啓発し、不法投棄物の撤去を受託して不法投棄防止を普及啓発するとともに、会員の優良事業所や優良従業員を表彰し、コンプライアンスの向上を推進しました。

(ア) 不法投棄防止キャンペーン

委員会名	実施日	地域	実施場所	主催・実施主体	事業内容
横浜地区委員会	29.7.23	横浜市	山下公園、象の鼻パーク開港波止場	小さな親切運動 神奈川本部	山下公園及び象の鼻地区一帯のごみ拾い(約 1,015 人参加)横浜地区 42 名参加
県央地区委員会	29.9.3	座間市	座架依橋	県央地域廃棄物対策推進協議会	座架依橋付近の模川河川敷の清掃活動(全参加者数 約 1,704 名)
	29.11.6、13	綾瀬、清川		県央地区合同パトロール	不法投棄防止合同パトロール
	29.11.6、13	大和、愛川		県央地区合同パトロール	不法投棄防止合同パトロール
湘南・県西地区委員会	29.5.28	藤沢市内	湘南海岸	第 41 回ゴミゼロクリーンキャンペーン	不法投棄の防止・美化キャンペーン、約 10 名(全体で 5,325 名)
	29.5.30	箱根町、南足柄市、山北町、湯河原町		山梨県・静岡県・神奈川県合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止連絡協議会	不法投棄防止一斉パトロール：全体 20 名(6 名)
	29.7.8	平塚市内	七夕祭り会場	クリーンボランティア実行委員会	エリアを巡回して落ちているゴミの回収
	29.10.27	秦野市内	震生湖、鶯橋	秦野地区不法投棄防止キャンペーン実行委員会	可燃ごみ 150Kg 不燃ごみ 150Kg

	30.2.15	秦野市内	震生湖、鶯橋	秦野地区不法投棄防止キャンペーン実行委員会	可燃ごみ 150Kg 不燃ごみ 250Kg 適正処理困難物 50 Kg
--	---------	------	--------	-----------------------	---

(イ) 適正処理顕彰事業

a 協会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期
功労者表彰	8名	29.6.14 平成29年度定時社員総会
優良事業所表彰	15社	
優良従業員表彰	30名	

b 公益社団法人全国産業廃棄物連合会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期
功労者表彰	1名	29.6.16 第7回定時総会
地方功労者表彰	5名	
優良事業所表彰	1社	
地方優良事業所表彰	8社	
優良従事者表彰	4名	

c 産業廃棄物関係功労者環境大臣表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
産業廃棄物関係功労者環境大臣表彰	2名	29.11.17 第16回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」〈高知県〉

d 神奈川県環境整備功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境整備功労者表彰	2名	29.11.22 神奈川県庁

e 神奈川県環境保全功労者表彰(環境農政局長表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	4名	29.7.7 開港記念会館

ウ 調査研究に基づく普及啓発

(ア) 適正処理調査研究・普及啓発事業

産業廃棄物の適正処理における課題に関する調査研究を行い、制度改善等が望まれる事項について、関係機関等に提言を行いました。

a 平成29年度予算及び施策に関する提言

提言先	提言日
自由民主党 (神奈川県支部連合会)	29.6.12
公明党 (神奈川県議会議員団)	29.8.2
神奈川県知事、横浜市長、川崎市市長、 相模原市長、横須賀市長	29.8.16

(2) 資料・情報の収集・提供、広報による普及啓発

産業廃棄物とその処理に関する情報を収集・提供し、産業廃棄物の適正処理を普及啓発しました。
また、常任理事会を中心に、会員への情報発信の改善に取り組みました。

ア 法令・行政情報等の収集・提供

法令、行政情報、会員情報、災害廃棄物情報等を収集し、情報提供等の基礎資料とするとともに、関連する資料を提供しました。

(ア) 行政や関係団体からの各種通知、案内等

行政や関係団体からの情報については、随時会員に通知するとともに、ホームページへの掲載や事務局内に配架等しました。

- ・ 会員への行政情報等の提供：月 2 回程度送付（随時）
- ・ ホームページへの掲載：月 2 回更新（上旬、下旬）

イ ホームページによる情報提供

協会のホームページを見やすく使いやすくするため、主要行事や協会事業の一覧表の掲示といった改善に努めるとともに、会員に対してのお知らせとして、安全衛生大会や定時社員総会の速報、安全衛生スローガン、協会の宣言を掲示しました。また、会員への情報発信の更なる改善を図るため、フェイスブックを開設しました。

ウ 機関誌による情報提供・広報

機関誌「さーきゅれーしょん」に、産業廃棄物に係る行政情報をはじめ、法令情報、技術情報、労働災害防止のための安全衛生情報、各行事の実施結果、会員に関する情報などを掲載して発行・配布し、処理業者、排出事業者、行政、県民に適正処理に関する協会事業や行政情報、関連情報を広報しました。

(ア) 機関誌「さーきゅれーしょん」発行事業

- ・ 機関誌「さーきゅれーしょん」年 4 回作成し、会員・関係機関等に配布及び有償頒布

号数	発行日	特 集	発行部数
第 1 号	29.4.25	特集① 神奈川県廃棄物関係計画の改定等について 特集② 平成 29 年度労働災害防止計画	850 部
第 2 号	29.7.25	特集① 平成 29 年度定時社員総会開催 特集② 平成 29 年度医療廃棄物適正処理講習会 特集③ 安全衛生対策の推進	850 部
第 3 号	29.10.23	特集 働き方改革について	850 部
第 4 号	30.1.31	特集① 廃水銀及び水銀使用製品に係る法改正と処理技術の現状 特集② 産業廃棄物処理施設における火災予防について 特集③ 第 8 回安全衛生大会	850 部

平成 29 年 4 月に機関誌名を「かながわ産廃」から「さーきゅれーしょん」に変更しました。

(3) 安全衛生の向上・徹底の普及啓発

適正処理推進の基盤である労働者の安全・安心と経営の安定化に向けて処理業の安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

ア 安全衛生パトロールや安全診断等による普及啓発

職場の安全衛生パトロールを行い、職場の状況・実態に応じた安全衛生方策を協議して課題を解決し、処理業者の職場改善を行いました。また、労働安全衛生の専門家を同行して内容を深めるとともに、現地で参加者を対象に労働安全衛生ミニセミナーを開催しました。

安全衛生パトロールの実施状況

種 別	実施日	対 象
安全衛生パトロール	29.7.10	県央地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働衛生ミニセミナー開催)
	29.9.29	横浜地区委員会主催 地区内事業所
	29.10.13	横須賀地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働衛生ミニセミナー開催)
	30.2.19	湘南県西地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
	30.3.8	川崎地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
安全診断 巡回相談	29.5.19	三浦地域資源ユーズ(株)
	29.5.25	(株)シンシア
	29.10.12	(株)相模土建
	30.2.7	ジャパンバイオエナジー(株)

イ 安全衛生の情報収集・提供

職場の労働災害防止や安全衛生の向上を図るため、安全衛生大会を開催し、労働災害の発生実態や原因、具体的な対策について普及啓発を行いました。

実施日	参加人員	場所	内容・実施
29.5.30	104名	横浜情文ホール(横浜市)	<ul style="list-style-type: none"> ■安全衛生スローガンに関する表彰式 ■産業廃棄物処理業界における労働災害防止対策の取組に向けて ■労災防止のための排出事業者様との連携について ■「法令違反の公表企業」の事例とすぐ直す安全対策
29.12.5	59名	平塚ラスカホール	<ul style="list-style-type: none"> ■産業廃棄物処理業界における労働災害防止対策の取組について ■「法令違反公表」事例の安全対策と廃棄物取扱い時の健康障害防止

ウ 安全衛生事例等による普及啓発

会員企業の労働災害やヒヤリ・ハット事例の調査を行い、改善策の実施効果等を取りまとめるとともに、日常的な安全衛生活動の実施状況や各社が力を入れている取組内容等を収集し、機関誌「さーきゅれーしょん」に掲載するほか、「初歩の労働災害防止マニュアル」の普及に努め、各社の現場管理方法や作業方法等の見直しや改善など労働安全衛生活動の推進を図りました。

エ 安全衛生優良事業所等の顕彰による普及啓発

安全衛生優良事業所とその担当役員・従業員の顕彰を行い、安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

安全衛生協議会表彰受賞者

区 分	表彰対象	表彰時期
安全衛生活動表彰 5年表彰	2社	29.6.14 平成29年度定時社員総会
安全衛生活動表彰 年度表彰	25社	
安全衛生活動優良役員・従業員表彰	9名	

(4) 連合会等との連携による適正処理の普及啓発

都道府県域を超えて処理される産業廃棄物の適正処理を推進するため、全国の処理業者や関係団体と連携・協力して適正処理を普及啓発しました。

ア 連合会等との連携による適正処理の推進

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の役員・委員として運営や諸事業に参画し、国等からの指導・助言を受け、情報を収集し、共通課題を協議・調査研究し、課題解決を進めて、適正処理を普及啓発しました。特に、当協会役員が医療廃棄物部会、法制度委員会、同委員会タスクフォース、安全衛生委員会に委員として参加し、各事業を推進して、適正処理を普及啓発しました。

(ア) 連合会連携普及啓発事業

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の会議に次のとおり参加等しました。

a 総会

開催日	会 場
29.6.16(第 6 回定時)	明治記念館(東京都港区)
30.2.23(臨時)	ホテルグランヴィア広島(広島県)

b 理事会

開催日	会 場
29 .5.23 (第 34 回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
29. 6.16(臨時)	明治記念館(東京都港区)
29. 7.11(第 35 回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
29.10.11(第 36 回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
30.1.12(第 37 回)	明治記念館(東京都港区)
30.2.13(臨時理事会)	市川グランドホテル(千葉県市川市)
30.3.13(第 38 回)	明治記念館(東京都港区)

c 正会員会長会議

開催日	会 場
30.2.23	ホテルグランヴィア広島(広島県)

d 正会員事務局責任者会議

開催日	会 場
29. 7.28	アジュール竹芝(東京都港区)
30. 2. 2	

e 委員会・部会・連絡会

開催日	名 称・会 場
29 .5.18 29. 9. 6	法制度対策委員会(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
29.5.12(7 回) 29. 7.25(8 回) 29. 8.23(9 回)	法制度対策委員会タスクフォース(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
29. 9.21 29.12. 6 30. 1.31	安全衛生委員会(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)

29. 7.14	医療廃棄物部会(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
----------	---

f 関東地域協議会会長会議及び協議会等

開催日	内 容(会場)
29. 4.21	第 58 回会長会議・協議会(H グランドパレス(東京都千代田区))
29.11.24	第 59 回会長会議・協議会(栃木県宇都宮東武ホテルグランデ)

イ 全国大会での適正処理の推進

公益社団法人全国産業廃棄物連合会等が主催し、環境省等が後援する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加し、全国の協会員等と共同して適正処理の普及啓発を行いました。

第 16 回産業廃棄物と環境を考える全国大会

開催日	会 場
29.11.17	三翠園(高知県)

ウ 関係団体との連携による適正処理の推進と社会貢献の取組

産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者等の関係団体の事業への参加や情報交換等を行い、連携して適正処理の推進と社会貢献に取り組みました。

(連携した関係団体)

- 公益社団法人神奈川県環境保全協議会
- 公益財団法人かながわ海岸美化財団
- 一般社団法人東京都産業廃棄物協会(建設廃棄物委員会)
- 一般社団法人神奈川県建設業協会
- NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会
- 神奈川県ホームレス協議会

(5) 体験学習会等による普及啓発

県民、児童、大学生等に環境を守ることの難しさや産業廃棄物の適正処理と処理業界への認識を深めてもらうため、会員企業において産業廃棄物の排出から処理までの過程を見学・体験を行いました。

2 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 研修会、講習会等の開催

産業廃棄物処理業者及び排出事業者の適正処理の意識と資質の向上のため及び職場の安全衛生と産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、法令、知識、技術及び技能に関する研修会、講習会、セミナー及び視察見学会を開催しました。

また、常任理事会を中心に、会員の満足度が高くて参加しやすい行事とするため、取組を進めています。

ア 講習会等開催事業

(ア) 県受託産業廃棄物講習会

開催日	参加者数	場 所	講習内容
29.12.7	67 名	神奈川労働プラザ	技術管理者講習会
30.2.23	49 名	神奈川労働プラザ	処理業者講習会

(イ) 研修委員会 電子マニフェスト操作講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
29.5.15-16	26 名	協会会議室	初級者向け電子マニフェスト入力方法 講師:(公財)日本産業廃棄物処理振興センター職員
29.7.11-12	34 名	協会会議室	
29.8.24-25	37 名	協会会議室	
29.11.14-15	36 名	協会会議室	
30.1.23-24	29 名	協会会議室	

(ウ) 研修委員会講習会

開催日	参加者数	場 所	講習内容
29.10.19	46 名	万国橋会議センター	産業廃棄物処理施設における火災予防について

(エ) 医療廃棄物適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講習内容
29.7.4	107 名	横浜情文ホール(横浜市 内)	医療廃棄物の適正処理、違反事例、ほか (対象:医療従事者)

(オ) 建設廃棄物の適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講習内容
29.9.27	80 名	横浜情文ホール	建設廃棄物の適正処理について

(カ) 法令講習会

開催日	参加者数	場 所	講習内容
30.2.6	103 名	神奈川労働プラザ	廃棄物処理法の基礎

イ 地区セミナー・視察見学会

(ア) 地区セミナーの開催

委員会等	開催日	参加者数	会 場	内 容
横 浜	29.11.16	67 名	神奈川労働プラザ	水銀廃棄物関係の法令改正と処理業者の対応 廃棄物処理業界における安全衛生の課題と対策
川 崎	29. 7. 3	37 名	川崎市産業振興 会館	川崎市における産業廃棄物処理行政の 動向について 伸びてる会社の意外な共通点
横須賀	29.11.27	37 名	ヴェルクよこすか	産業廃棄物の排出者責任について
県 央	29.11.22	37 名	厚木アーバンホテル	・廃棄物処理法の改正の概要について ・最新の労務管理について(労使紛争 の未然防止を中心に)
湘南・県西	29.8.4	22 名	平塚商工会議所	人材不足時代の労務環境改善セミナー
湘南・県西	29.9.30	28 名	平塚商工会議所	処理業に潜む危険を体感して、労災 を防止しよう
青年部会	29.8.4	51 名	開港記念会館	・ボクシングから学ぶ経営及び人材育 成
青年部会	29.12.1	28 名	開港記念会館	・かしこい契約書の作り方 ・印紙税について

(イ) 産業廃棄物処理施設等の施設見学会の開催

委員会等	開催日	参加者数	見学施設
横 浜	30.2.23	23 名	JFE環境株式会社 千葉事業本部
川 崎	29.10.20	24 名	(株)クレハ環境 ウェステックいわき
横 須 賀	30.2.23	9 名	(株)アルフォ城南島第 2 飼料化センター
県 央	30.2.2-3	11 名	熊本県熊本市、益城町
研 修	29.9.15-16	20 名	(株)富士エコサイクル
建設廃棄物特別	29.11.17	13 名	エコレ城南島
医療廃棄物部会	29.10.20	29 名	(株)シンシア横浜RCセンター ※医療従事者向け
	29.11.24	16 名	ツネイシカムテックス埼玉(株)

ウ 安全運転教習

労働災害の防止を図るため、会員等の従業員の自らの運転の課題について気づいてもらうため、ドライブレコーダを用いた体験型の安全運転講習を実施しました。

実施日	参加人員	実施場所
30.2.27、3.6、3.9	9 名	三ツ境自動車教習所(横浜市)

(2) 後継者、若手経営者等の養成

産業廃棄物処理業経営者の後継者を養成するため、青年部会の自主企画による産業廃棄物の適正処理のための公益活動を行いました。

- ・青年部会実施公益目的事業

開催日	参加者数	場 所	活 動 内 容
29.6. 2-3	延べ 165 名	臨港パーク内 (横浜市)	「横浜開港祭」(80 万人参加)で発生した廃棄物の分別指導を通じ、廃棄物の適正処理の普及啓発。
29.10.6	60 名	静岡県三保の松原	世界文化遺産登録された三保の松原海岸の清掃活動
29.11.10、 11	80 名	日本橋宿から箱根 宿までの 11 宿場	箱根駅伝のコースの清掃活動を通じ業界の認知度を高める

3 産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介

処理業者、排出事業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する相談や苦情申し出に対応して適切な処理を指導・助言し、廃棄物の処理を必要とするときは専門の処理業者等を紹介しました。

4 災害廃棄物の処理の支援等

平成 25 年 4 月 1 日に大磯町と地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定を締結したことにより、現在、県との基本協定のほか 13 市町(横浜市、川崎市、横須賀市、葉山町、相模原市、開成町、平塚市、小田原市、秦野市、箱根町、鎌倉市、藤沢市、大磯町(協定の締結順))と締結済みとなった。以上の市町を面積で見ると全県の 64%をカバーしており、人口では 84%をカバーしています。

なお、県とは平成 29 年 4 月に新たな基本協定を締結したほか、30 年 2 月 7 日に湘南地区の市町を対象とした相互援助協定の実効性を検証する図上演習にオブザーバーとして参加しました。

5 専門委員会、地区委員会の開催

各委員会等の開催状況は、次のとおりである。

[専門委員会、地区委員会の開催状況]

委員会等名	開催日程	委員会等名	開催日程
企画・財政委員会	6回 29.5.9 7.21、9.5、 12.12、30.2.22、3.6	横浜地区委員会	3回 29.4.14、6.28、11.18
広報委員会 (情報活用部会)	4回 29.5.9、7.26、 10.26、30.2.8	川崎地区委員会	4回 29.4.24、7.3、11.22、30.1.26
研修委員会	7回 29.4.21、6.26、 8.28、9.15、10.19、 12.7、30.2.23	横須賀地区委員 会	4回 29.5.11、7.20、9.22、11.27
福利厚生委員会 (表彰審査会)	2回 29.9.6、30.2.215 (1回 30.2.15)	県央地区委員会	5回 29.4.18、7.10、9.27、 11.22、30.2.2
建設廃棄物特別委員会	1回 9.27、	湘南・県西地区委 員会	6回 29.4.7、6.30、8.4、9.30、 11.10、12.5
医療廃棄物部会	4回 29.4.5、5.10、 10.5、11.24		
安全衛生協議会	3回 29.4.27、9.13、 11.29	情報活用部会	3回 29.7.26、10.25、30.2.8
法制度整備委員会	2回 29.10.11、 30.1.11	収集運搬部会	2回 29.10.30、30.2.1
役員選考・推薦委員会	1回 29.4.27	青年部会	全体会1回、定例会 11回ほか、 幹事会 11回、研修会 1回

共益事業

1 会員及び会員の従業員の元気回復、懇親等の福利厚生に関する事業

会員及び会員の従業員の精神的安定、元気回復等のため、ゴルフコンペ等を行いました。

行事名	開催日	会場	参加者数
第1回 RCK 会ゴルフコンペ	29.7.6	磯子カントリークラブ	23名
第2回 RCK 会ゴルフコンペ	29.11.28	小田急藤沢ゴルフクラブ	24名
社員総会懇親会	29.6.14	ホテルモントレ横浜	236名
賀詞交歓会	30.1.17	ホテルモントレ横浜	210名
観劇会(宝塚歌劇)	30.4.7	東京宝塚劇場	40名

管理事業

1 総会、理事会等の開催

協会運営の基本となる事項を協議・決定するため、定時社員総会、理事会、企画・財政委員会等を開催しました。

(1) 総会開催事業

ア 平成 29 年度定時社員総会

開催日	場 所	出席者	議 案
29.6.14	ホテルモン トレ横浜(横浜 市)	出席99社 委任状206社 書面議決68社 合計373社	【議事】 1 平成28年度事業報告及び平成28年度収支決算報告、平成28年度監査報告 2 定款の改正 3 役員選任 【報告事項】 1 平成29年度事業計画及び平成29年度収支予算 【表彰】 1 協会表彰 2 安全衛生協議会表彰 【講演会】 廃棄物・リサイクル分野の地球温暖化対策(日本環境衛生センター副理事長 藤吉秀昭 氏)

(2) 理事会・常任理事会等開催事業

ア 理事会

開催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
第 4 期 第 9 回 定時理事会	29.5.17	情報文化セ ンター会議 室	理事 26 名 監事 2 名	【協議事項】 1 業務執行状況について 2 平成 28 年度事業報告・収支決算報告 3 役員推薦(選考)委員会結果、ほか 【その他】 1 県・政令市からの情報提供
第 4 期 第 10 回 定時理事会	29.6.14	ホテルモン トレ横浜	理事 25 名 監事 2 名	【協議事項】 1 業務執行状況について、ほか
第 4 期 臨時理事会	29.6.14	ホテルモン トレ横浜	理事 25 名 監事 2 名	会長、代表理事副会長、専務理事及び常 任理事の互選 委員会、部会等の長及び委員の選任
第 5 期 第 1 回 定時理事会	29.9.13	大和地所ビ ル6F 会議 室	理事 23 名 監事 2 名	【協議事項】 1 理事会、委員会、部会運営方針について 2 新委員会の委員について
第 5 期 第 2 回 定時理事会	29.12.20	大和地所ビ ル6F 会議 室	理事 20 名 監事 1 名	【協議事項】 1 上半期予算の執行状況 2 平成 29 年度追加事業について
第 5 期 第 3 回 定時理事会	30.3.14	大和地所ビ ル6F 会議 室	理事 18 名 監事 1 名	【協議事項】 1 平成 29 年度事業・予算執行状況 2 平成 30 年度事業計画・予算

イ 正副会長会議、他

開催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
第 1 回正副会長会議	29. 7.12	大和地所ビル 6 階会議室	正副会長 6 名 相談役 1 名 事務局 2 名	理事会、委員会、部会の運営方針について
第 1 回常任理事会議	29. 9. 5	大和地所ビル 6 階会議室	正副会長 6 名 専務理事 1 名 常任理事 名 事務局 2 名	理事会、委員会、部会の運営方針について

エ 常任理事会を中心にした協会の課題の検討

各カテゴリーの課題	内容
1 協会の目指すものは何か	終了(協会の宣言)
2 会員増強・運営基盤強化のため	終了(理事会による取組)
3 協会事業の活性化・魅力・満足度アップのため	終了(協会事業のルール制定)
4 情報発信の改善のため	終了(ホームページ等の改善)
5 社会的地位や認知向上のため	継続
6 事務局の課題	終了(理事会資料事前送付等)
7 関係団体との連携(新設)	継続

オ 県・政令市との産業廃棄物問題懇談会・情報交換会

開催日	場所	内容	参加者
29.12.20	大和地所ビル 6 階 会議室	食品廃棄物(事業系一般廃棄物)のリサイクル促進に向けた今後の取組の検討	県幹部等 7 名 理事 16 名 監事 1 名 相談役 3 名

2 組織の強化・拡大、加入促進

協会の組織強化・拡大のため、常任理事会の取組の一環として、理事が中心となって業務上の関連がある未加入業者等に対し、協会への加入を促進しました。

(1) 会員入退会、名簿作成・修正事業

ア 平成 29 年度の会員の異動状況は、次のとおりです。

区 分	会員数 (H29.3 末現在)	会員数 (30.3.31 現在)	異 動 状 況		会員数 (増減)
			加 入	退 会	
正会員	494	489	5	10	489(-5)
賛助会員	53	52	2	3	52(-1)
合 計	547	541	7	13	541(-6)

(2) **会費収入管理事業**

会員から納入された会費を管理しました。

3 **事業報告等の提出及び公益法人変更登録等**

名称変更については、平成 29 年 4 月 1 日付けで変更登記を行いました。

また、平成 29 年度定時社員総会における平成 28 年度事業報告・収支決算報告並びに定款変更及び役員改選を受け、横浜法務局において定款の変更及び役員変更登記を、神奈川県に事業報告及び変更届等を行いました。

なお、10 月 19 日に神奈川県文書課による公益法人としての立ち入り検査を受けましたが、指摘事項はありませんでした。

4 **事務局の運営**

その他協会運営に必要な事務局の運営などを行いました。

(1) **調査回答事業（協会の管理に係るものに限る。）**

連合会や他団体等からの調査照会に回答しました。

(2) **連合会総会等参加事業**

連合会通常総会や関東地域協議会等に参加しました。

(3) **事務局管理運営事業**

その他協会運営に必要となる事務局の運営や理事会・各委員会の開催準備・記録作成、各委員会の行事の開催準備などを行いました。

(以上)